

事業所名

放課後等デイサービス Smile のだ

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

21日

法人（事業所）理念		利用者の安心と安全を最優先にし、個性を尊重しながら、発達や特性に応じた支援を行います。また、保護者やその家族を支援し、地域との連携を強化することで、インクルーシブな支援の中で子どもの成長と発達を育むとともに、自立と社会参加を促進します。						
支援方針		利用者に合わせた個別支援や学習、日替わりの活動プログラムや遊びの中で、スモールステップで成長を促します。また、異年齢のクラス編成を行い、ルールやマナーなどの社会性や人間関係を育むとともに、休日の外出や遠足などの多様な経験を通じて、成長と自立を促進します。						
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	毎日の検温や本人の様子を観察し、健康状態の把握、維持を行っていきます。一日の流れの中で挨拶、日付の確認や天気の確認を行っています。学校の給食がない日などでは、食事の提供を行っています。旬の食材を取り入れるなどして栄養面からの健康支援も行っています。食事の時間が楽しいものとなるように、みんなと一緒に食べる、イベントの日にはバイキングなどを取り入れています。排泄支援などでは一定時間で声掛けし、成功体験を積むことで自分から排泄ができるように支援を行っています。お友達からの視線が届かないようにするなどの配慮も行っています。						
	運動・感覚	学習などの時間に姿勢の保持ができるように、座る体勢などにも注意を置き、崩れてしまった際に声掛けするなどの支援を行っています。また、鉛筆などを正しく持てるようにするため、必要に応じて補助器具の使用も行っています。プログラムでは公園への外出なども組み込み、筋力の維持・強化も図っています。冬場でも積極的に体を動かす機会を作り、健康状態の維持にも取り組んでいます。悪天候時にも体を動かすことができるように、室内で行える活動を考え、支援を行っています。感覚の特性にも注意をし、環境の整備や配慮をするようにしています。						
	認知・行動	一人一人の特性に応じて、環境の整備をお子さまに合わせた支援ができるよう、PDCAサイクルを用いて、日ごろから見直しを行っています。癇癪を起こしてしまうお子さまに対しては、その原因を追究し、ストレスにならないように環境の整備を行っています。食事の提供を行うことにより、偏食などへの支援も行っています。場面に応じた道具の使い方がわかるように、食事の場面、プログラムで工作を取り入れるなどをして、理解や判断につながるように支援を行っています。						
	言語 コミュニケーション	一日の始まりと終わりでの挨拶はお子さまたちに行ってもらっています。挨拶の基礎を身につける点でも、いろいろな人と関わりを持つ点でも、お子さま同士での挨拶を意識しています。読み書き能力の向上のため、学習の時間にはお子さまに合わせて課題を設定し、特性などに応じて支援を行っています。課題の内容は適宜、確認をして、内容の変更を行っています。お子さまの理解度に応じて、課題を継続するか、変更するかを判断をしています。プログラムには職員が参加し、直接、お子さまとの関わりを持つことでコミュニケーション能力の向上を促しています。						
	人間関係 社会性	安心・安全で自分らしく過ごせる居場所を提供できるように、お子さまとの接し方、集団行動（プログラム）の内容を考えています。お子さま同士でのやり取りの中で、相手の気持ちや意図などが理解できなかった際には、職員が一緒（間）に入り、理解につながるように声掛けなどの支援を行っています。また、プログラムには職員も参加して、お子さまと一緒に行動することで、ルール理解や役割分担などの社会性につながる支援を行います。また、外出のプログラムを取り入れ、外に外出した際の社会のルールやマナーなどの理解につながる支援をしています。						
家族支援		家族のリフレッシュや休息のできる時間の提供、悩みや相談に対して助言を行ったり、施設全体で協力できる体制を作っていきます。急な残業などで送迎の時間を調整するなど多方面から支援を行います。			移行支援	学校などの機関との情報の共有、相談支援員さんとの情報共有など連携を取り合い、本人や家族が安心できるように支援をしていきます。		
地域支援・地域連携		同法人の事業所間での連携を強め、共同のイベントに参加するなど連携をしていきます。地域の催し物に参加できるように企画を進めていきます。			職員の質の向上	研修等に参加し、知識を深め、専門性を高めていきます。日ごろの活動で気づいた点や気になった点は終礼などで報告、共有、他にもミーティングなどの機会を使ってケース会議などを開き、質の向上をしていきます。		
主な行事等		季節などの行事に応じて、プログラムを計画しています。長期休暇期間では、外出イベントを企画し、社会への理解、適応を促進していきます。夏にはプールを設置しての水遊びや、市民プールなどへの外出を予定しています。秋には事業所の枠を超えて、保護者交流会を実施。利用者のみならず、ご家族で参加できる内容を計画しています。						